

議案第6号

平成26年度県立高等学校の学科改編等について

平成26年度県立高等学校の学科改編等について、別紙のとおり提出します。

平成25年3月16日

鳥取県教育委員会教育長 横 濱 純 一

平成26年度県立高等学校の学科改編等について

平成25年3月16日
高等学校課

昨年10月に策定した「今後の県立高等学校の在り方に関する基本方針」に基づき、平成30年度までに必要となる学級減及び学科改編のうち、平成26年度に実施するものについては、以下のとおりです。

校名	平成25年度		平成26年度(変更案)		変更理由																								
	大学科	小学科(コース)	大学科	小学科(コース)																									
鳥取東	普通⑦ 理数①	普通科⑦ 理数科①	普通⑥ 理数①	普通科⑥ 理数科①	<p>東部地区の中学校卒業者の減少が見込まれる中、普通学科を1学級減じる。</p> <p>学級減に際して、入学志願時に普通学科と理数学科との区別を設けない「くくり募集」を行うことで、生徒が入学後に自己の能力や適性を見極めた上で学科を選択し、理数分野への興味・関心の高い学習集団を形成して、より質の高い理数教育の推進を図ることを可能とする。</p> <p><「くくり募集」を行う背景></p> <p>平成13年度に、理数教育の推進を図る目的で理数学科が設置され、課題研究などを通して、理数分野への興味・関心を高めるとともに、探究力等の養成に寄与してきたが、近年、中学校段階で文系・理系などなかなか決めにくいことなどから、普通学科を第一志望とし理数学科を第二志望とする生徒も多くなっている。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p>◆東部地区の学級減(H17以降)</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th>H17</th> <th>H18</th> <th>H19</th> <th>H20</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>普通学科</td> <td>1 鳥東</td> <td>1 岩美</td> <td>1 鳥西</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1 八頭</td> </tr> <tr> <td>専門学科</td> <td></td> <td></td> <td>2 鳥商 智頭</td> <td>2 鳥商 鳥工</td> <td></td> <td>1 鳥商</td> <td>1 鳥湖陵</td> </tr> </tbody> </table> </div> <div style="width: 45%; border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>◆くくり募集・・・いくつかの学科やコース等の募集を一括して行い、生徒が入学後、それぞれの学科等の内容等を十分理解した後に、所属する学科等を決定するもので、1年次は共通の教育課程で学習しながら進路について学び、適性を見極め、2年次に生徒の希望等に基づいて学科等を選択する。</p> </div> </div>		H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	普通学科	1 鳥東	1 岩美	1 鳥西				1 八頭	専門学科			2 鳥商 智頭	2 鳥商 鳥工		1 鳥商	1 鳥湖陵
		H17	H18	H19		H20	H21	H22	H23																				
普通学科	1 鳥東	1 岩美	1 鳥西				1 八頭																						
専門学科			2 鳥商 智頭	2 鳥商 鳥工		1 鳥商	1 鳥湖陵																						
青谷	総合学科④		総合学科③		<p>近年、募集定員に対して入学者が満たない状態が続いており、今後も、東部地区、特に旧気高郡内の中学校卒業者数の減少が見込まれている。</p> <p>このため、募集定員を志願者数に見合う適正規模とするため1学級減とし、現在多岐にわたって設置されている系列と教科や科目を精選しながら再構築し、総合学科の特色を生かしながら、確かな学力の定着と一人一人の多様な能力の伸長を図る。</p> <p>■高等学校入学者選抜の競争率の推移(一般入試)</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H19年度</th> <th>H20年度</th> <th>H21年度</th> <th>H22年度</th> <th>H23年度</th> <th>H24年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>競争率</td> <td>0.80</td> <td>0.95</td> <td>1.01</td> <td>0.96</td> <td>0.56</td> <td>0.85</td> </tr> </tbody> </table>	年度	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	競争率	0.80	0.95	1.01	0.96	0.56	0.85										
	年度	H19年度	H20年度	H21年度		H22年度	H23年度	H24年度																					
競争率	0.80	0.95	1.01	0.96	0.56	0.85																							

校名	平成25年度		平成26年度(変更案)		変更理由
	大学科	小学科(コース)	大学科	小学科(コース)	
米子工業	工業⑤	機械科① 電気科① 情報電子科① 都市環境科① 建設コース 環境化学コース 建築科①	工業⑤	機械科① 電気科① 情報電子科① 環境エネルギー科① 建設科① 土木コース 建築コース	<p>本県では、魅力ある豊かな自然環境を保全する活動を進めるとともに、風力、太陽光、バイオマスなどの再生可能な自然エネルギーの活用に積極的に取り組んでいる。</p> <p>今後、開発が進められている新エネルギー技術の基礎である電気・電子分野、環境化学分野の知識や技術を学び、応用力を持った人材の育成を図るため、環境エネルギー関係の新たな学科を編成する。</p> <p>また、土木及び建築は、共に建設を構成する分野であり、共通の専門性があることから、都市環境科建設コースと建築科とを建設科として再編成して土木コースと建築コースを設置し、土木技術や建築技術の基礎的な知識や技能を幅広く学ぶことができる内容とする。</p>
日野	総合学科③		総合学科②		<p>近年、募集定員に対して入学者が大幅に満たない状態が続いており、今後も、西部地区の中学校卒業生数は減少が見込まれている。</p> <p>このため、募集定員を志願者数に見合う適正規模とするため1学級減とし、総合学科の特色を生かしながら、確かな学力の定着と一人一人の多様な能力の伸長を図る。</p> <p>併せて、現在、地域が中心となって日野高校の在り方を考える協議会等が設置され、学校の活性化策について検討が行われていることから、地域と連携しながら魅力や特色のある学校づくりを進める。</p>

■高等学校入学者選抜の競争率の推移(一般入試)

年 度	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度
競争率	0.78	0.56	0.62	0.55	0.44	0.32

※丸囲み数字は学級数、アンダーラインのゴシック部分は変更箇所